

(様式1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1

施設名

(所管課)

富山県総合体育センター

スポーツ振興課

2

施設所在地

富山市秋ヶ島183

3

施設設置年度

昭和59

年度

4

設置目的

県民に総合的な機能を備えた体育・スポーツの活動の場を提供することにより、体育・スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と明るく豊かな県民生活の形成に資する。

5

施設概要

延床面積：19,986.54㎡ 鉄骨・鉄筋コンクリート造2～3階建

(主な設備等)
大アリーナ（50m×36m・観覧席3,024席）、中アリーナ（45m×30m）
温水プール（50m×8コース・観覧席500席、飛込みプール）
トレーニング室、体力測定室、宿泊室（11室・60名）、研修室、会議室

6

指定管理者

公益財団法人富山県スポーツ協会

7

指定期間

3

年

令和5年4月1日

～

令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）				
R3	R4	R5	R6	R7
170,530	210,338	235,569	225,315	253,345
(2) 利用（使用）料金収入（千円）				
R3	R4	R5	R6	R7
32,496	40,471	49,910	48,978	59,005
(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）				
R3	R4	R5	R6	R7
50,819	50,819	50,819	50,819	50,819

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和7年度は、富山市総合体育館の休館に伴い、富山グラウジーズのホームゲームが複数回開催されたことにより、利用者数・料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成30年度から総合体育センター、西部体育センター及び高岡総合プールにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行っている。
- ・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行っている。
- ・ホームページにおいて各種スポーツや健康づくり、トレーニング等の情報を充実させるとともに、スマートフォンからも閲覧・施設予約ができるようにしている。
- ・令和5年度からLINE公式アカウントを取得し、イベント開催や修繕等による施設の利用中止等の情報発信に努めている。（R7登録者190人）
- ・各種競技大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した（繰上げ開館 114件）。
- ・大会主催者の要望に応じて、休館日（火曜日）に施設の一部を開館した（臨時開館：36日）。
- ・施設利用者へのアンケート調査等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・大アリーナ2Fのランニング走路を無料で開放するなど、来館者が無料で気軽にスポーツを楽しめる場を設けている。
- ・飲料等の自動販売機を設置し、引き続き、利用者へのサービス向上に努めた。
- ・職員研修会の開催により、職員の資質向上を図り、サービスの向上に努めた。
- ・平成29年度にサイクルステーションを設置し、サイクリングを楽しむ方々の憩いの場として利用いただける体制を整えている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成30年度から、50mプール及びトレーニング室の個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定している。
- ・利用の少ない曜日・時間帯の利用を増やすため、屋外スポーツ（冬季のテニス等）のアリーナ利用について、事前受付を行い、利用拡大を図った。
- ・情報誌を発行（年11回）し、関係機関等に広く配布を行い、施設案内、事業案内、利用案内、トレーニング法等について周知を図った（2,000部作成）。
- ・スポーツドクター等の専門医を招き、スポーツ障害相談会を実施した（年間28回、計97人参加）。
- ・総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツの日にスポーツフェスティバル（施設の無料開放、スポーツ体験会・記録会、スポーツクリニック等）を開催した（延べ3,638名参加）。
- ・自主事業として、学校等への講師派遣や親子を対象とした体験型セミナーや子育て世代のお母さんを対象に自宅でも簡単に試せる30分トレーニング等を開催し、スポーツ等に親しむ機会の提供に努めた。また、部活動が地域のクラブ活動へ地域展開する支援として、競技団体と連携し、スポーツの体験会を実施した。
- ・利用者が楽しめる季節毎の行事（こいのぼり、七夕、クリスマスツリー）を実施し、利用者の増に努めた。
- ・富山きときと空港との相互利用を促進するため、スポーツラウンジに卓球台、ビリヤード台を常設しており、空港利用者を含む多くの来館者に利用いただけるよう運用を行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	①施設利用者を対象に利用者の声ボックスを設置（随時） ②施設利用者を対象にアンケートを実施（R8.3.6～3.31）
回答者数	回答者数：①3件、②85人
結果	・施設を利用しての全体的な満足度 57.8% ・意見・要望等 備品・トレーニング機器等の更新、施設清掃についての要望等
結果を踏まえた改善事項	・利用者の要望等に配慮しながら、県と指定管理者との協議の上、施設・備品の計画的な修繕・更新を行った。 ・館内の美化に努めるとともに、職員、業者への美化意識の再認識に努めた。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・運営協議会の開催 ⇒年1回、スポーツ関係団体の長、利用者の代表等で構成する協議会を開催し、運営の基本方針等、利用者の意見、要望について情報交換を実施。

③主な苦情と対応

・サウナ脱衣室が暑いので、冷房か扇風機を設置してほしい。 →扇風機を設置した。
--

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。また、業務の再委託にあたっては、個人情報の保護の条項を設け、個人情報保護に努めた。
--

(6) 関係団体との連携

・各競技団体と連携し、強化の中核拠点として総合的な競技力向上に努めた。 ・校区自治会や防犯環境協議会と連携し、総合体育センター周辺や駐車場の巡回による不審者・不審物の発見、防犯にご協力をいただいている。 ・校区の資源回収に積極的に参加し、地域住民との交流を深め、施設運営への協力と理解を得るように努めた。 ・町内に広報誌を毎号配布し、事業・行事・大会等をお知らせし、施設の運営に協力をいただいている。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・危機管理体制マニュアル、緊急対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、職員に周知徹底を行い、利用者の安全・安心の確保に努めている。 ・利用者の協力を得て、火災を想定した避難訓練を実施した。 ・監視カメラの設置により、防犯の徹底を図っている。
--

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・本県における競技力強化の中核拠点として位置付けられていることから、引き続き、第2トレーニング室等の施設設備を有効に活用し、各競技団体との連携により総合的な競技力向上を図る必要がある。

・SNSの活用を含めた広報活動の工夫・充実を図る必要がある。

・総合的な機能を備えた体育・スポーツの中心施設として、引き続き、利用の少ない時間帯など、幅広い年代を対象とした利用促進を図る工夫を行っていく必要がある。

・利用者のニーズや時代に変化に対応できるよう休館日のあり方について検討していく必要がある。